

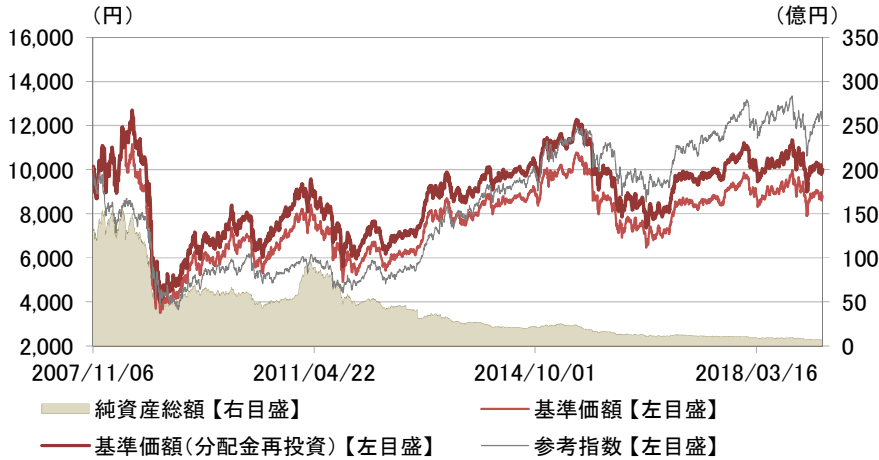
三菱UFJ グローバル農業関連株式ファンド
 〈愛称:ゴールデン・ハーベスト〉

月次レポート

2019年
 03月29日現在

追加型投信/内外/株式

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、MSCI ワールド インデックス(円換算ベース)です。
- ・参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
- ・詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
- ・参考指数は、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.2%	6.5%	-9.8%	2.9%	13.9%	0.1%
参考指数	0.3%	12.5%	-6.4%	6.0%	24.9%	24.3%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■組入上位10カ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	61.4%
2 カナダ	12.5%
3 日本	4.5%
4 スイス	4.1%
5 ノルウェー	3.2%
6 ドイツ	2.5%
7 ブラジル	2.0%
8 フランス	1.8%
9 イギリス	1.4%
10 シンガポール	1.2%

■組入上位5業種

業種	比率
1 農薬・肥料	26.4%
2 機械 - 農業用	26.0%
3 食品 - その他	20.0%
4 農業経営	10.6%
5 食品 - 肉製品	3.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 46銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 DEERE & CO	アメリカ	機械 - 農業用	16.2%
2 NUTRIEN LTD	カナダ	農薬・肥料	11.2%
3 ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	アメリカ	農業経営	7.7%
4 CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	アメリカ	農薬・肥料	6.4%
5 MOSAIC CO/THE	アメリカ	農薬・肥料	6.1%
6 NESTLE SA-REG	スイス	食品 - その他	4.1%
7 MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	アメリカ	食品 - その他	4.1%
8 CNH INDUSTRIAL NV	アメリカ	機械 - 農業用	3.6%
9 AGCO CORP	アメリカ	機械 - 農業用	3.1%
10 クボタ	日本	機械 - 農業用	3.1%

- ・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
- ・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。
- ・業種は、Bloomberg業種で分類しています。
- ・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- ・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	8,802円
前月末比	-194円
純資産総額	7.02億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第22期	2018/11/15	0円
第21期	2018/05/15	0円
第20期	2017/11/15	0円
第19期	2017/05/15	0円
第18期	2016/11/15	0円
第17期	2016/05/16	0円
設定来累計		1,400円

- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■資産構成

	比率
実質国内株式	4.5%
内 現物	4.5%
内 先物	0.0%
実質外国株式	92.8%
内 現物	92.8%
内 先物	0.0%
コールローン他	2.6%

■組入上位5通貨

通貨	比率
1 米ドル	63.4%
2 カナダドル	12.6%
3 ユーロ	5.9%
4 日本円	5.7%
5 スイスフラン	4.1%

- ・為替予約等を含めた実質的な比率です。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ グローバル農業関連株式ファンド
 〈愛称:ゴールデン・ハーベスト〉

月次レポート

2019年
 03月29日現在

追加型投信／内外／株式

■運用担当者コメント

市況動向

3月のグローバル株式市況(2月27日～3月28日)は上昇しました。中国の景気刺激策に加え、米連邦公開市場委員会(FOMC)にて年内に利上げを行わないとの見通しが示されたことなどを背景に上昇しました。下旬は、欧州景気の減速が懸念されたことなどから下落しましたが、月を通じては上昇しました。穀物市況については、米中貿易協議に対する懸念や南米産地での豊作観測などから大豆は下落しました。一方、世界的な輸出競争の激化などが嫌気された一方、米国産地の作付の遅れなどが好感された小麦やとうもろこしはもみ合いとなりました。為替市況(2月28日～3月29日)では、米ドルは、FOMCにて年内に利上げを行わないとの見通しが示されたことなどが下落要因となる一方、米国経済の堅調さなどが上昇要因となり、もみ合いとなりました。ユーロは、欧州中央銀行(ECB)が成長見通しを引き下げたことや、欧州の経済指標が軟調だったことなどから円に対して下落しました。

運用状況

当ファンドは、農業・肥料セクターや農業経営セクターなど農業生産性の向上に資する銘柄を中心に投資し、組入比率を高位に維持しました。

3月は、保有する農業関連銘柄の株価が下落したことに加え、カナダドルなどが対円で下落したことがマイナスとなり、基準価額は下落しました。組入銘柄の中では、肥料需要が弱まるとの懸念が強まったことから、肥料製造・販売会社の「モザイク」などが下落しました。投資行動としては、リチウム事業をスピノフした後の残りの事業については比較的安定しており堅調な収益を生み出すと判断した化学品会社の「FMC」を新規に購入しました。

今後の運用方針

主要穀物価格は長らく続いた下落から反転してきています。今後も、供給面での引き締め進展などによる需給バランスの改善が農産物市況を下支えし、農業関連株式全般の投資サイクルは上向きに転じると見えています。米中貿易摩擦はリスク要因ではあるものの、中国を中心とした世界的な穀物需要拡大が予想されるため穀物価格は回復し、これにより生産者は収穫高を増やすために作付面積を拡大するか、より多くの肥料を使用するようになることが見込まれます。こうした投資環境の見通しの下、当ファンドでは、引き続き農業・肥料関連銘柄を選好していきます。

・ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料に基づき作成しています。
 ・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

■本資料で使用している指数について

・MSCI ワールドインデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数です。MSCI ワールドインデックス(円換算ベース)は、MSCI ワールドインデックス(米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI ワールドインデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ グローバル農業関連株式ファンド
〈愛称:ゴールドデン・ハーベスト〉

月次レポート

 2019年
 03月29日現在

追加型投信／内外／株式

■組入上位10銘柄コメント

銘柄	銘柄概要
1 DEERE & CO (ディア)	世界有数の農業・林業用機器メーカー。 農業機器事業部門はトラクター、コンバイン、綿・さとうきび刈り入れ機、耕作・種蒔き・整地機械、噴霧機、乾草・飼料器具のほか、統合農業管理システムや農業用精密灌漑設備など、一連の機器や部品を製造・販売している。
2 NUTRIEN LTD (ニュートリエン)	カナダの肥料メーカー。 カナダの肥料メーカーであるポタシュとアグリウムが合併して誕生。化学肥料の主原材料となる炭酸カリウム、窒素、リン酸などの分野で強みを持ち、世界的に事業を展開している。
3 ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO (アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド)	穀物・種子加工、仲介などの商社業務を行うアメリカの穀物メジャー。 大豆およびトウモロコシ、小麦、ココアの加工処理や食料あるいは飼料として使用される製品の中間処理を手掛ける。代替燃料(バイオ燃料)としてエタノール加工も展開。
4 CF INDUSTRIES HOLDINGS INC (CFインダストリーズ・ホールディングス)	アメリカの窒素肥料の製造販売業者。 北米で最大級の窒素肥料の製造のほか、リン酸塩肥料の製造・販売に従事する。米国中西部を中心に、北米・南米に製品を提供。農家のニーズを踏まえた強固な物流ネットワークを展開。
5 MOSAIC CO/THE (モザイク)	世界最大級のアメリカの肥料製造・販売会社。 濃縮リン酸塩、カリウム、窒素肥料および家畜用飼料の原料などを主に扱う。世界各国の顧客に対して、グローバルな物流システムを通じて、製品を卸売から小売業者まで流通させるバリューチェーンを展開している。
6 NESTLE SA-REG (ネスレ)	スイスに本社を置く多国籍食品会社。 世界で幅広く食品の製造・販売を手掛ける。製品はコーヒー、ミネラルウォーターなどの飲料や、チョコレートなどの菓子類からペットフードに至るまで多岐にわたる。グローバルな事業ネットワークと多様なブランド力が強み。
7 MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A (モンデリーズ・インターナショナル)	アメリカの飲料・食品メーカー。 北米、南米、欧州、アジアなど世界各地で、スナック、飲料、チーズ、加工調理済み食品、各種加工生鮮食品などの包装済み食品を製造、販売する。
8 CNH INDUSTRIAL NV (CNHインダストリアル)	欧州の特殊車両メーカー。 自社ブランドのトラック、商用車、バス、特殊車両、農業・建設機器、エンジンとトランスミッションなどを設計、製造、販売する。
9 AGCO CORP (アグコ)	アメリカの農業機械メーカー。 農業機械およびその交換部品を製造・販売する。トラクター、コンバイン、自走式噴霧機、乾草・飼料器具のほか、ディーゼルエンジン製品などの農業機械をグローバルに提供する。
10 Kubota (クボタ)	日本の農業機械メーカー大手。 産業機械、水管も製造し、主製品には鉄管、エンジン、トラクタ、ハーベスタ、バインダ、田植機を含む。また、鋳鉄製品、建築用構造材、環境施設装置なども製造する。

・上記は個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。・ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーの資料に基づき作成しています。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ グローバル農業関連株式ファンド (愛称:ゴールドデン・ハーベスト)

追加型投信/内外/株式

ファンドの目的・特色

■ファンドの目的

世界(含む日本)の農業関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、農業関連分野の生産性向上に資する企業を中心に投資銘柄を厳選し、値上がり益の獲得をめざします。

■ファンドの特色

特色1 主に世界(含む日本)の農業関連企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。

ファンドにおける農業関連企業とは

- ・種苗・農業化学、農産物等の生産・加工・流通、農業関連設備、農林畜産業関連のサービスを提供する企業。
- ・「農業関連分野への投資拡大の恩恵を受け、かつ、中長期的に当該企業の売上げ全体に影響を与える」と、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが判断した企業。

特色2 ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーにマザーファンドの株式等の運用の指図に関する権限を委託します。

特色3 原則として、為替ヘッジを行いません。

■ファンドの仕組み

・運用は主にグローバル農業関連株式マザーファンドへの投資を通じて、世界(含む日本)の農業関連企業の株式へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

■分配方針

- ・年2回の決算時(5・11月の各15日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。**

したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動 リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動 リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。
信用 リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性 リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。
カントリー・ リスク	新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ グローバル農業関連株式ファンド 〈愛称:ゴールドデン・ハーベスト〉

追加型投信／内外／株式

手続・手数料等

■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2019年11月18日まで(2007年11月6日設定)
繰上償還	受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年5・11月の15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

三菱UFJ グローバル農業関連株式ファンド (愛称:ゴールドデン・ハーベスト)

追加型投信/内外/株式

手続・手数料等

■ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.24%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**をかけた額

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用
(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.944%(税抜 年率1.8%)**をかけた額

その他の費用・
手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称:三菱UFJ グローバル農業関連株式ファンド

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社あおぞら銀行(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○		○	
株式会社足利銀行(インターネット専用)(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社三菱UFJ銀行(インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)(インターネットトレードのみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○		○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社横浜銀行(※)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○